2020年8月某日

差枚	+2026枚	RANK	B

実戦機種

SLOTまどか新編、バーサス、SLOT魔法少女まどか☆マギカ2
SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～絆2

実戦レポート

何事にもタイミングというものがあり、例えば男女関係ではアプローチの時期が違うだけでYESがNOになったりNOがYESになったり、パチスロで言えば同じレア役でも全く無価値になる時もあれば特化ゾーン中なら勝負を決める大役を成し遂げることもあり、そしてパチンコ店で言えば「出せる日」と「出せない日」というタイミングがある。
このレポート中にも何度か書いているように、今や多くのホールでは「出せる日」を定番化する傾向にあり、多くのスロッターたちはその傾向を読み取って「この日が出そうだ」と判断して、打ちに行く店を決めている。それが現代のスロットで勝つための正攻法と言っていいだろう。

しかし今回は、その定番化されているタイミングを少々ハズしての実戦となった。つまり、いつもと違う（かもしれない）状況で打つということであり、まぁそれ自体はこの仕事をやっていれば時々あるケースなので初めての経験ではないけれど、しかしこのケースは毎回どう攻めればよいのか困ったまま開店時間を迎えるのがオレの中で定番化している。で、だいたい辿り着く結論がこうだ。「まぁ目立つとこにあるメイン機種から打ってみよう」。入場番号が13番だったオレは、バジリスク絆2が取れなかったため、過去に設定4以上っぽい挙動も確認している「SLOTまどか新編」のカド台からスタートした。だが開始から1時間ほど打って全く良いところが無く、早々に台移動を決意。いつもと違う状況で打つ時は、やはり深追いはしづらくなる。

空き台の中から次に選んだのは「バーサス」。これが運よく1Kで当たってくれて、早いボーナスが続きつつ1000枚ぐらい一気に出たと思いきや、ちょっとハマって設定推測要素も微妙になり、持ちメダルがあるうちに次の台を探すことに。3台目に選んだ「まどマギ2」では、開始早々に次回穢れ発動確定のセリフが出てテンションが上がるも、出てきたエピソードはマミ、そしてARTも駆け抜けて、若干メダルを増やしただけの一撃離脱となった。
そうこうしているうちに、朝の狙い目だった「バジリスク絆2」に空き台が出始めた。まぁ空いたってことは、あまり高設定っぽくなかったんだろうな…とデータと見ると、そのうちの1台はBT初当りが軽めで、偶数設定はありそうな感じ。で、それ以外の空き台は…えっ！　BT間570Gハマリ!?　と、とりあえずこれ打つか…。で、800Gの同色からBT突入させて、500枚ぐらいをゲット。では、あの偶数設定っぽい台に移動するか…と持ちコインを流したら、今度は別のハマリ台が空いた!?　これがなんとBT間780Gハマリという奇跡のようなタイミング。じゃ、じゃあ打ちますけど…同色からBT突入して、そこそこ連チャンしてまた出玉増えた。で、最後はようやく例の偶数設定っぽい台で、そこそこBTに突入させつつジワ増え。色々とタイミングだけで勝ちました。